

令和5年度第1回三重県人口減少対策推進会議 概要

- 1 開催日時：令和5年5月26日（金）15時20分～15時40分
- 2 議事概要：以下のとおり

（後田政策企画部長）

- ・ それでは令和5年度第1回三重県人口減少対策推進会議を開催する。
- ・ 本日の会議では、これまで検討を行ってきた三重県人口減少対策方針の最終案についてご意見をいただきたいと考えている。
- ・ 事務局から説明をさせていただく。

※資料1～3について、事務局（坂本人口減少対策課長）から説明

（後田政策企画部長）

- ・ ただ今の説明について質問等ないか。
- ・ それでは人口減少対策方針の最終案を資料3のとおりとしてよろしいか。
- ・ ご了承いただき感謝申し上げます。
- ・ 最後に知事からまとめのコメントをいただく。

（一見知事）

- ・ 人口減少対策課を中心として約1年間にわたり、実態の調査・先進地域の調査を行い、方針の最終案をまとめた。
- ・ おそらく他県でこのような方針をまとめているところはまだなく、三重県がいの一番に行ったと思う。まずはチャート（海図）となるものをまとめることができ、非常によかったと考えている。これから実行に移していくことが大事である。
- ・ 昨日鳥取県で開催された近畿ブロックの知事会議でも、人口減少は各県にとって喫緊の課題であるという話が出た。三重県はこれから選ばれる地域になっていかなければならず、県内の各市町も同じ意識をもっている。「子育て」、「雇用」、「賑わい」、「自然環境を含めた癒し」の4点を掲げて選ばれる地域にしていくと以前申し上げたが、多少表現が違う形でこの人口減少対策方針にも入っている。
- ・ 方針でキーワードとして取り上げているのは、まずは「人口還流の促進」。三重県は高校卒業時に多くの人が県外へ出て行ってしまふ。そのような人たちにどのようにして県内に戻ってもらえるかを考えていかなければならない。
- ・ さらに「ジェンダーギャップの解消」。これは企業にかなりご努力をいただかなければならない。また、我々が企業に対して要請をしていかなければならない。女性が働きやすく、子育てしやすく、そして、子育てに男性も一緒に加わるといふことに取り組んでいかなければならない。
- ・ さらに「人口減少社会への適応」。残念な話だが、今後は人口が少なくなっていく状況が続くが、その中でどのように行政のサービスを維持していくのか、あるいは生活を維持していくのかということを考えていく必要がある。
- ・ 既に三重県では市町との連絡会議は設置されているが、今後企業に担っていただくことも多いため、行政と企業が対話する窓口を作っていく必要がある。それをキーワードとして資料2に挙げており、これから対応していく。
- ・ 国も自然減対策に本腰を入れてくれた。自然減対策については国を中心にしっかり対応していかなければならない。
- ・ 社会減対策については、地域間競争になる可能性があるが、三重県を選んでいただけるよう市町や企業と協力し対応していく必要がある。

- ・今後議会や市町への説明、パブリックコメントを経て確定をするが、人口減少対策方針を策定して終わりというわけではなく、むしろ今からがスタート。各部局には今までも協力してもらっているが、これからの施策の実行にあたって引き続き協力をお願いしたい。

(後田政策企画部長)

- ・各部局におかれては知事のコメントにあったように引き続き実行等に向けて協力をお願いしたい。
- ・それでは令和5年度第1回三重県人口減少対策推進会議を終了する。